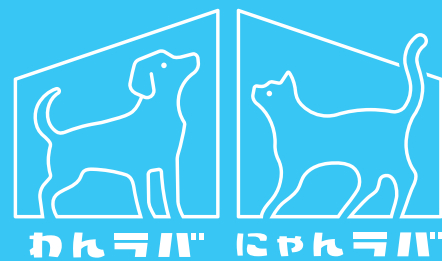


Renovation Lovers

Renovation for living with pets

どんな時代になっても、
これからも大好きな犬たちと暮らしたい。
それは、幸福そのものだから。

好きをカタチにするリノベーション・マンション



犬×Lovrs=Wan wan Lovers（わんラバ）

犬好きのためにこだわったお部屋作りをします。

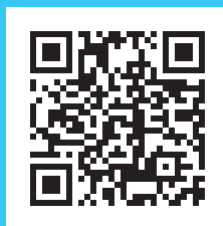
わんちゃんが快適に住める工夫と、飼い主さまの「あったら便利」を追求しました。

共に暮らすみんなが笑顔になるように心掛けた、リノベーションプランです。

さらにはNyan nyan Lovers（にゃんラバ）にも大注目。

ペットは家族、もはや当たり前のこと。

一生快適に、一生一緒に。



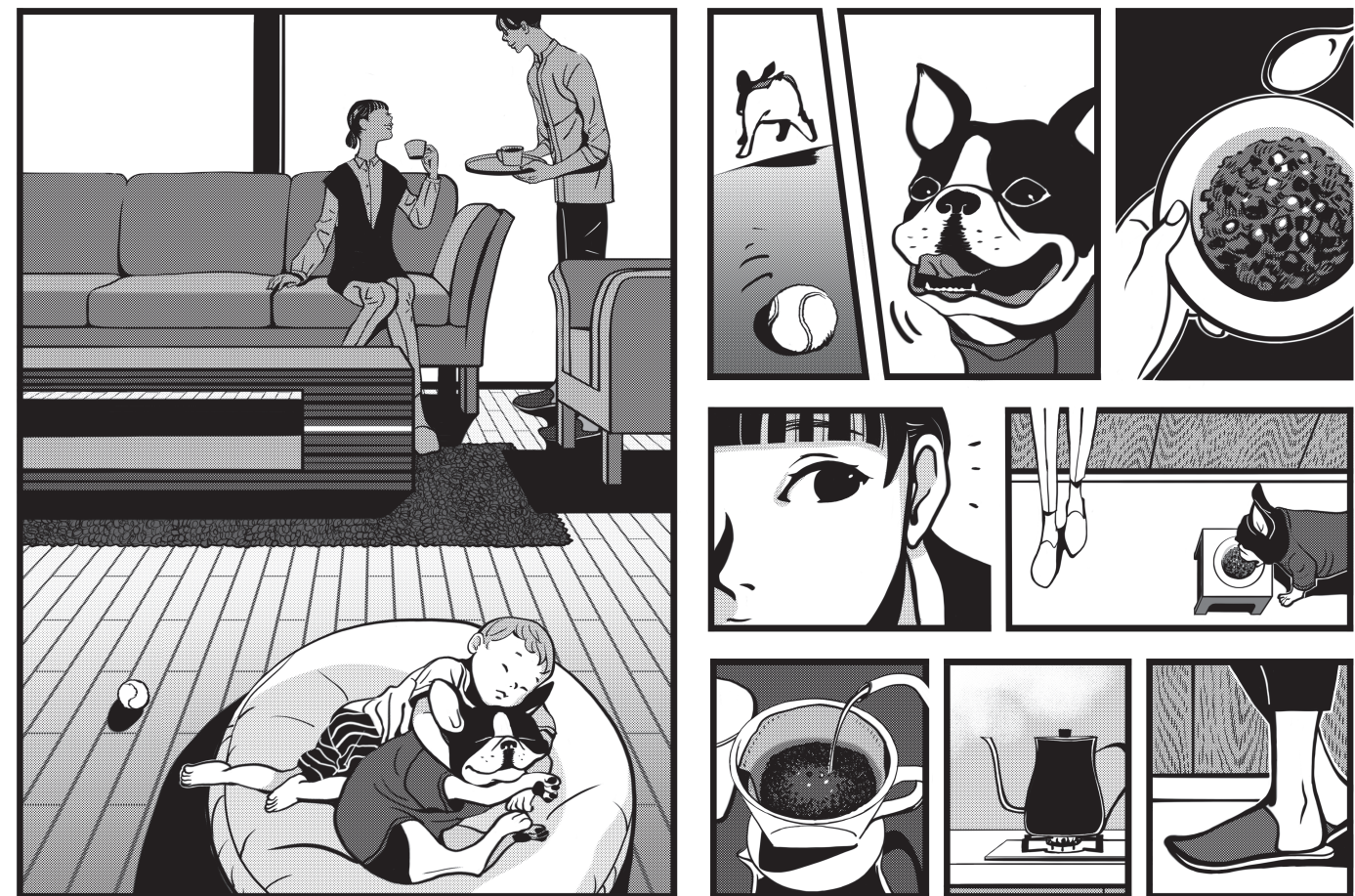
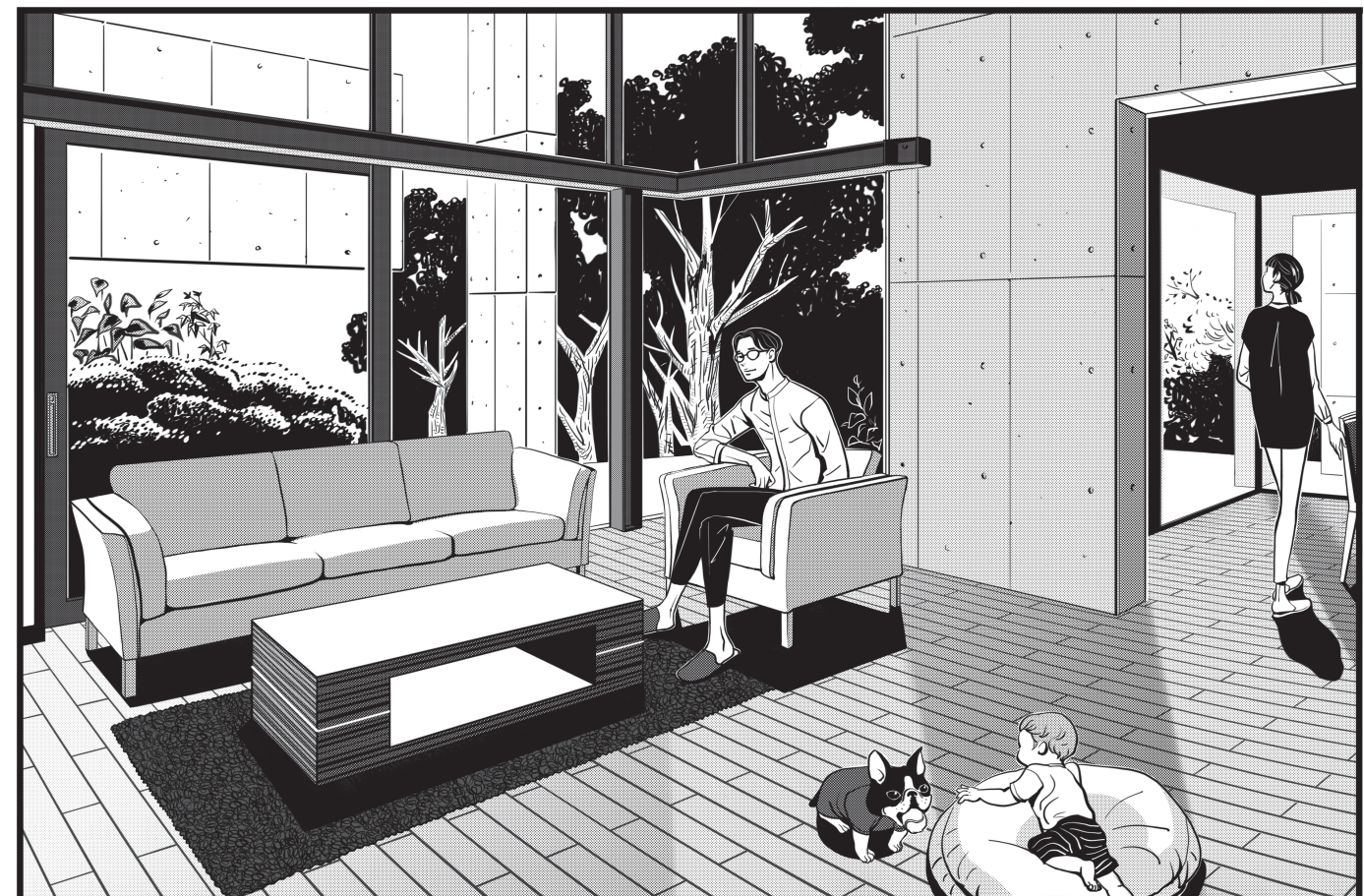
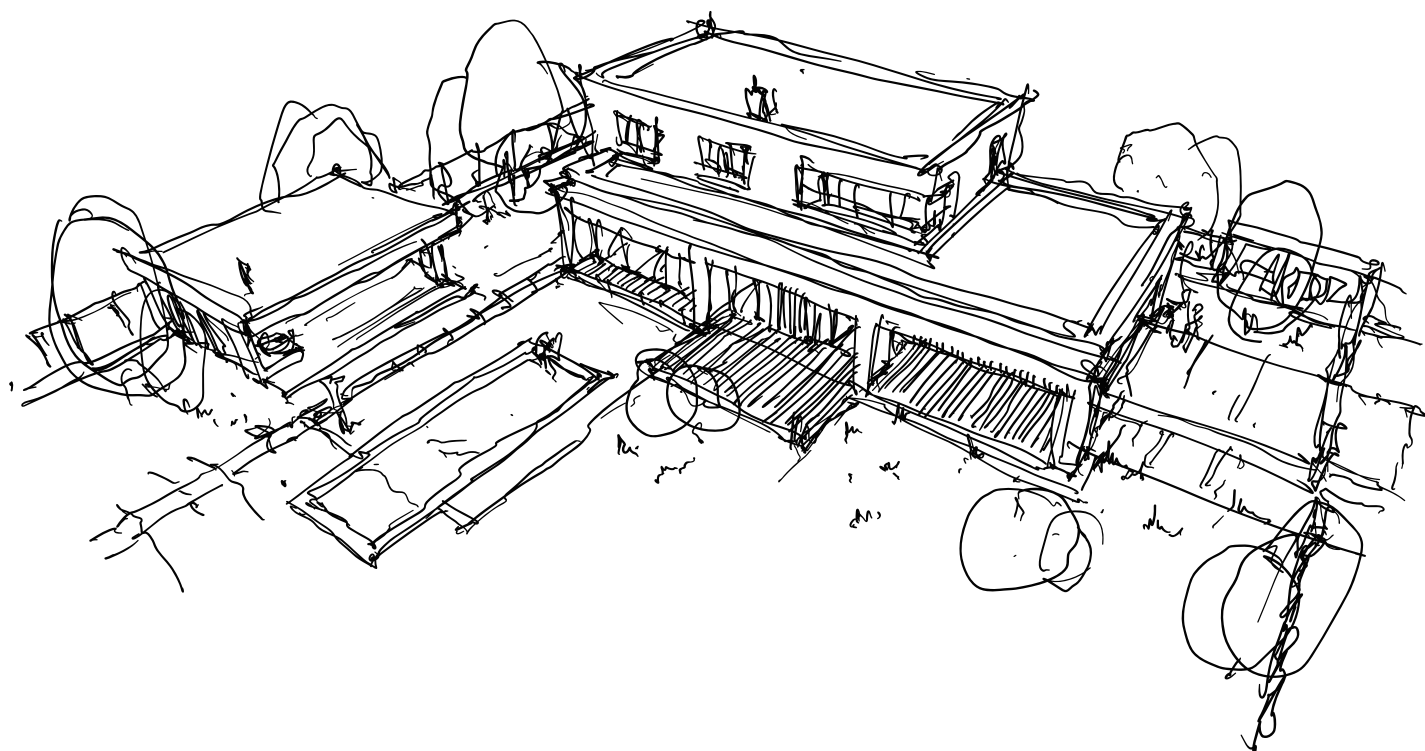
urbanstream-reform.com



Urban Systems inc.

リノベーションの話をしよう。 生涯、犬と暮らすために。

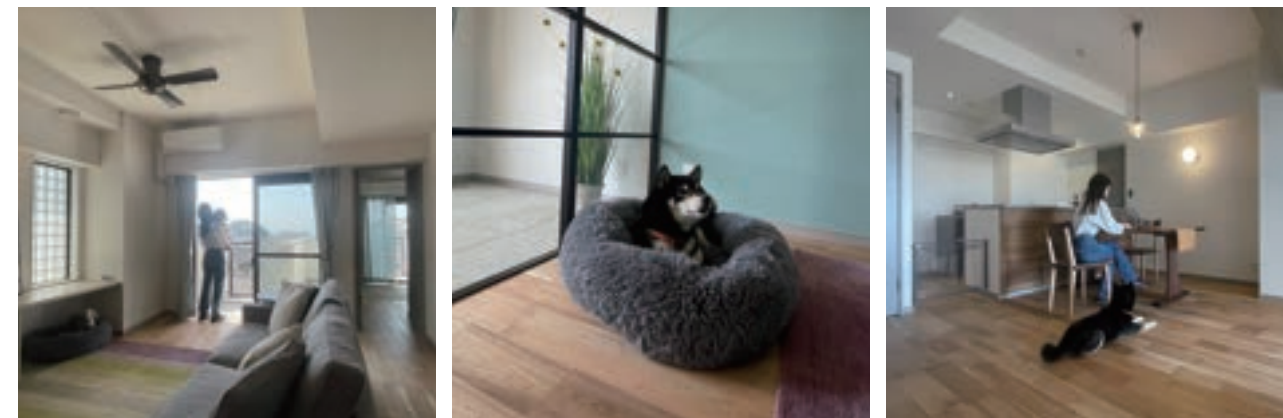
どんな時代になっても、
わたしたちは、これからも大好きな犬たちと暮らしたい。
この人生に犬がいる、ということが幸福そのものだから。
そして、そんな犬たちがいちばん欲しいものは、
美味しいおやつや、ボールや玩具でもなく、「安心」。
その場所が安全であるということが大前提のおやつであり、
ボールや玩具なのだ。
そのうえで犬たちが感じる「安心」は、
かならずわたしたちに福音をもたらすことだろう。
安心は快適を引き寄せ、充実を呼び、毎日を謳歌するよすがになる。
人も犬も幸せになるための、心地よく安心な住まい。
そんな家に、住んでみたい。





RENOVATION LOVERS for living with dogs

一日の終わりに窓から見えるサンセット、ゆったりとソファで愛犬と寛ぎながら



都会の暮らしでは味わえない、心豊かでメロウな時間／神奈川県横須賀市秋谷

愛犬もオーナーにもやさしい足触りと、木味に富んだ無垢フローリング。LDKの空間を広く取ることでキッチンから海を望みながら愛犬の安らぐ姿も見るができます。キッチンセットは既存の製品を再利用、意匠性の高いカラーコンクリート (MORTEX) でリニューアル。キッチン入り口には愛犬の動線を仕切るドッグゲートを設置。サンルームを備えたベッドルーム、開放感を持たせるために、部屋を壁で仕切らずガラス間仕切り。サンルームの床はタイル張りで愛犬のクールダウン、粗相してもお手入れが楽ちんです。玄関に深めのボウルの洗面台があり、散歩帰りのちょっとしたお手入れに便利。臭い対策として、各室天井に埋め込み式の空気清浄機も設置してあります。



構造：RC造／築年数：1992年12月／専有面積：壁芯71.88㎡／間取り：1LDK+WIC+ドッグスペース／
施工内容：スケルトン リノベーション／施工期間：2ヶ月

好きをカタチにするリノベーション・マンション



一生仲良く暮らすための、
フルリフォーム。

この時代、わたしたちと、わたしたちの大切な小さな家族が、
快適に毎日を過ごすためにはどうすればいいのでしょうか。

「家にいること、家に帰ることが楽しい」

そんなふうに思えば、それはきっとすばらしい人生になるはずです。

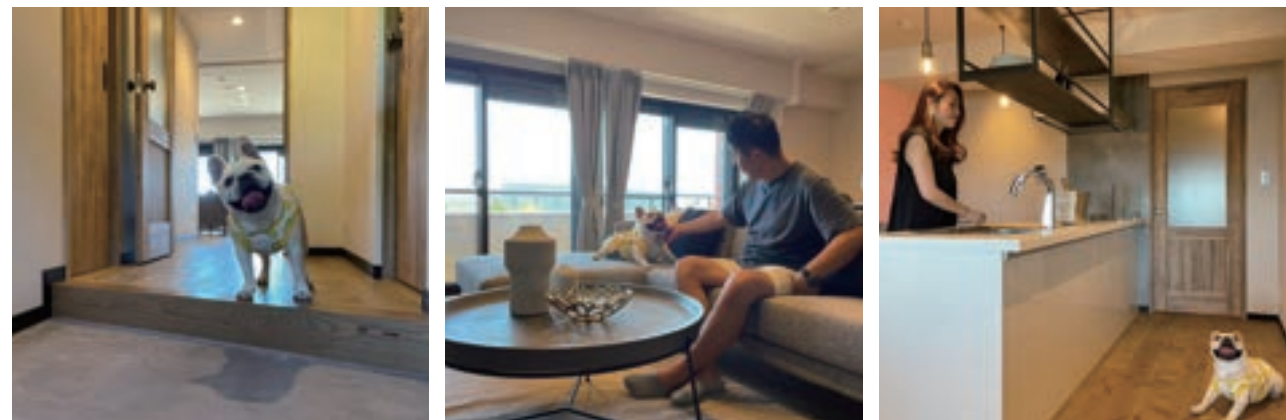
場所や特性によって柔軟なリフォームを施し、いつでも笑顔で、一生仲良く暮らす。

みんなが喜ぶ本気のリフォーム、考えてみませんか。



RENOVATION LOVERS for living with dogs

ベイエリアの眺望をお部屋の何処からでも楽しめる、開放感のある間取り



ホテルライクな暮らしを日常に取り込んだ、上質な横濱暮らし／神奈川県横浜市山手町

無垢のフローリングはオーガニック感たっぷりのやさしい仕様。奥行きのある広い玄関土間で、お散歩の準備もしやすく快適です。寝室は愛犬もくつろげるように、敢えてカーペットを採用しています。対面キッチンは空間を仕切るのにちょうどよく、愛犬の動向を確認しやすい位置に設計しました。愛犬の足洗いをしやすい深型の洗面ボールと、幅広の洒落たカウンターもあり、ドッグライフを便利かつスタイリッシュに過ごすことができます。各部屋には天井埋め込みの空気清浄機もビルドインされていて、不快な匂いもシャットアウト。ホテルライクなこの部屋の徒歩圏内には、港の見える丘公園、元町、山下公園などがあり、愛犬と最高の横濱暮らしが楽しめます。

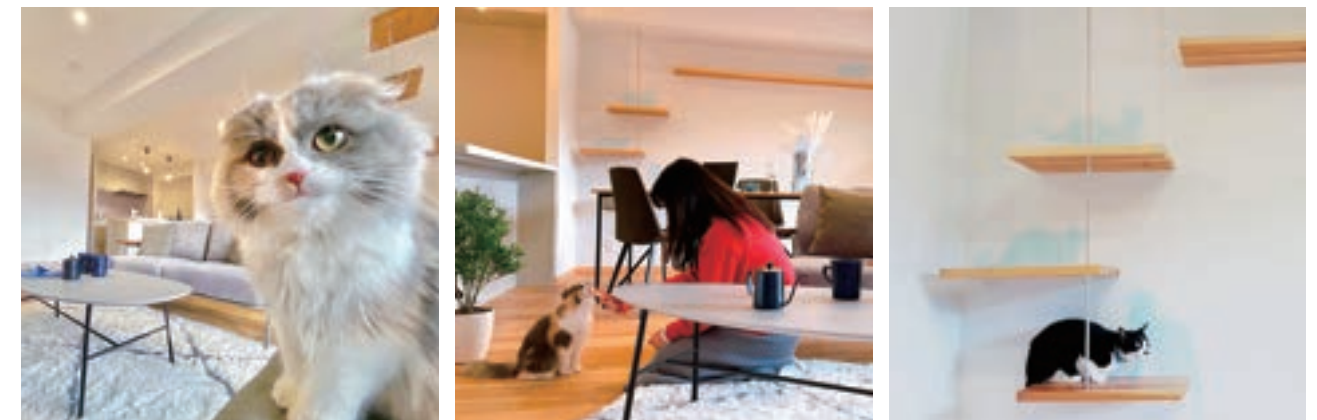


構造：RC造／築年数：1978年／専有面積：73.85㎡／間取り：1LDK+WIC／
施工内容：全面リノベーション／施工期間：2ヶ月



RENOVATION LOVERS for living with cats

主役は猫。人も猫も笑顔になれるリノベーション



猫のウォールアートが描かれたリビングダイニングルーム／東京都多摩市和田

足触りがよい無垢フローリングは、是が非でも採り入れたいリノベーションの王道。リビングの壁には、アーティスティックかつグッドデザインな、キャットステップとキャットウォークが設置してあります。その材料となる木は、地産地消の東京産です。一切の無駄を排したカウンター式洗面台はシンプルかつ機能美を意識したもの。さらには作業スペースを広く確保したII型キッチンで、毎日のお料理が楽しくなること間違いなし。そしてなんととっても特筆すべきは、玄関から靴のまま使える土間（DOMA）を造作していること。趣味の空間として、ストレージとして、もちろんペットの寛ぎ空間として……その用途は無限大です。



構造：RC造／築年数：1991年9月／専有面積：壁芯53.85㎡／間取り：1LDK+WIC+キャットウォーク／
施工内容：スケルトン リノベーション／施工期間：2ヶ月



RENOVATION LOVERS for living with dogs

家族と柴犬と楽しくおうち時間が過ごせる、いつでも帰りたくなるような家



低層マンションの3階のお部屋をリノベーション／東京都世田谷区瀬田

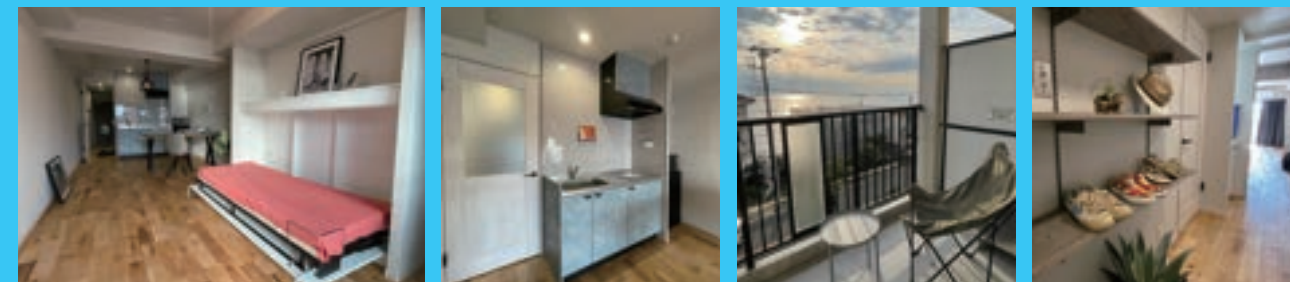
愛犬のために滑りにくいフローリングを敷き、お手洗いにも、お散歩帰りのお手入れが楽になる深型ボウルの玄関洗面台を設置しています。リビングの一角には、愛犬とお昼寝ができるヌクヌクな空間としてダイベッドも。愛犬のお手入れがしやすい、幅広の洗面カウンターも。さらに穴ぐら感のあるペットスペースには、消臭効果のある塗壁材を使用。上部は通気・透光性と意匠性を兼ね備えた花ブロックで間仕切りされています。ライフサイクルに合わせて間取りを可変できるスライドドアや、臭い対策として各部屋に天井埋め込みの空気清浄機も。砧公園、多摩川二子橋公園まで愛犬と散歩もでき、二子玉川まで愛犬とショッピング、夏にはお部屋から多摩川の花火も楽しめます。



構造：RC造／築年数：1976年／専有面積：62㎡／間取り：2LDK／
施工内容：全面リノベーション／施工期間：2ヶ月半

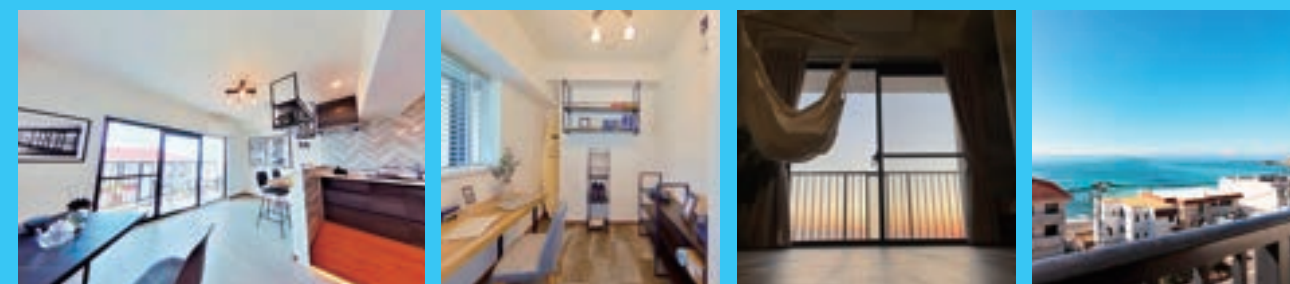
EXAMPLES OF RENOVATIONS THAT ENRICH YOUR LIFE

秋谷の海と古材が合わさる、ヴィンテージモダン



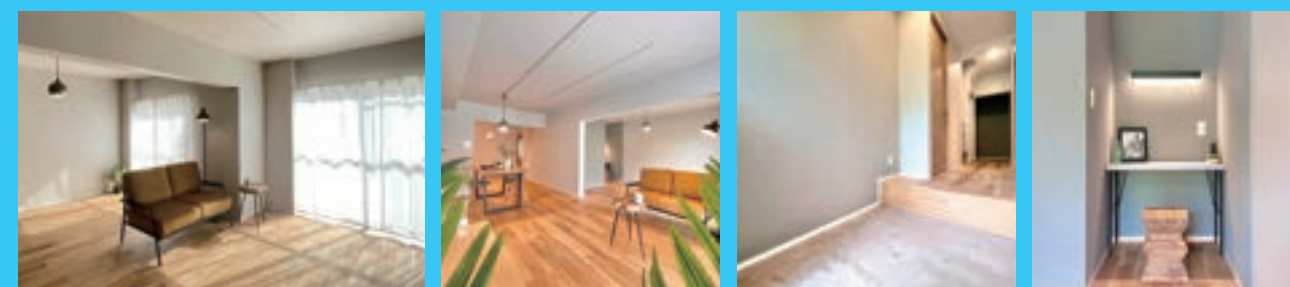
ヴィンテージでモダンな雰囲気を感じながらのスローライフ。趣味と感性の合致がもたらす新しい世界観（神奈川県横須賀市秋谷）

潮風とハンモック



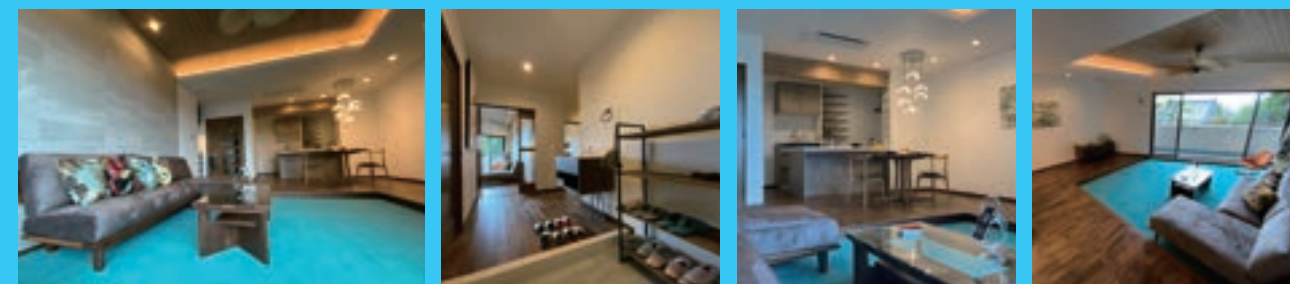
窓の外は遮るものがまったくなく、海、水平線、空が一面に広がる開放感バグンなワンルームマンション（神奈川県横須賀市秋谷）

シンプルな余白の最適解



あえて余白を残したリノベーション。自分で造る楽しさ、幸せを感じられるような完成形（東京都八王子市寺田町）

海とMID CENTURY



外形が六角形と特徴的な建物。リビングの大開口の窓からは海が一望できるパノラマビュー（神奈川県横須賀市野比）

心の豊かさの貯金を、 リフォームで表現しよう

わたしたち人間と共生するようになって、すでに長い歴史がある犬たちですが、彼らがどのような感情で日々生きているかということを、あらためて考えてみませんか。

今回お話をうかがったヒューマンドッグトレーナーの須崎大さんは、異種である動物との共生は、わたしたち人間にとって、とても心を動かされることだ、と言います。

その上でのリフォームは、明らかに人生の充実をもたらしてくれるものとなるでしょう。すべては飼い主の意識しだいで、変わるのです。

異種である動物との共生

日々の掃除と散歩、意外とかかる医療費。犬を飼うというのは楽しいことばかりではなく、あんがい大変なことが多いものです。

犬と暮らすことになった当初、高揚感と同時に、不安や心配が入り混じる気持ちはすべての飼い主が経験したものだと思います。なぜなら犬はわたしたち人間にとって特別な存在であり、ときには唯一無二の理解者でもあるからです。本質的には異種であって、骨の数も口腔内のpHの値も体温も、わたしたち人間とは異なる種だというのに。

しかし、地球上に存在する哺乳類の中で、犬が人間と有機的な関係性を構築してきた歴史が最も長い動物であることは確かです。お互いに必要とし、協力し合いながら生きてきた経緯があります。つまり「犬を飼う」というのは、ほかの小動物とは異なり、まさに「犬と暮らす」ことを意味しているわけです。

異種である動物との共生は、わたしたち人間にとって、とても心を動かされることで、それははるか昔から連綿と続いてきた、抗いがたい感情といえるのではないのでしょうか。

その犬の特性を理解する

哺乳類の中で、もっとも種としての数が多いのも実は犬。猫の種類（猫種）は、認定する団体によって異なりますが約50～60種ほどにとどまり、認定されていない品種を含めても約100種程度とされます。いっぽう犬は、地域によってはあまり知られていないような

土着の犬種や非公認の犬種を含めると、700～800の犬種があるといわれています。これは目的に応じて、共に生きていくために、必要な部分を伸ばし、必要な部分を排除してきた結果であると考えられます。

だからこそ「犬と暮らす」ということは、その犬の「特性」をよく理解しておく必要があります。種が多いということは、個々のキャラクターが立っているということであり、見た目の可愛さだけで選んでしまうと、後々その犬のハイスペックさに驚かされることも多々あります。だからこそ犬種特性を知ること、愛犬との暮らしのビジョンが、ぐっと鮮明になってくるはずです。

自分も含めた相互チェック

さて、いよいよ伴侶となる犬種を考えていきましょう。もちろん犬の見た目だけではなく、自分のライフスタイルや性格と照合することも大事なことです。ついついその犬種特性に目が行きがちですが、自分とのマッチングを確認するのは、その後の十数年を見据えても必須だといえます。

たとえば、アウトドア派であれば、アクティブな犬種のほうがその素養を楽しめるでしょうし、お子さんがいるのであればロイヤルな犬種で、子どもの成長と共に見守っていくのもいいでしょう。

いずれにしても、犬と暮らすための「目的」を家族で共有することが大切です。これから一生を共にする伴侶となる子を選ぶ際は、自分も相手に合っているのかチェックする必要があり、その点は、対人関係とまったく同様のものです。



Renovation Lovers
column



根源的で深い幸せ

ペットショップでたまたま出会ったから……よくある衝動買いで、犬との暮らしがスタートした方もいるかもしれません。それでもいま、毎日が共に幸せな気持ちで満ちているのであればそれでいい、とわたしは思います。誰々の幸せの方が優位であるといった指標がないのですから、あなたが幸せだと感じているのであれば、それがすべてです。

アメリカ・カナダで暮らしていた頃、当然のように聞きしてきたことを思い出します。友人の家に行くと、必ずといってよい確率で、家族のポートレートや思い出の写真が所狭しと置かれ、壁にかかっていました。週末は、定期的に友人を自宅に呼び、早めの時間からときに杯を交わしながら語らうのが自然な光景でした。自分の人生で大事なものにプライオリティをつけて、それを大切にする。きっと幸せってこういうことなんだろうな、と感じていました。

もちろんブランド品に囲まれて幸せを感じる人もいるかもしれません。しかし動物との共生は、もっと根源的で、かつ深い幸せを教えてください。

たとえば、毎日の散歩で拾う愛犬のうんち。これも愛犬の健康なからだがなければ叶いません。しかも、ほっこり温かい。まさに生きている証でもあり、毎回わたしが幸せを感じる瞬間です。これを少なくとも一日一回。一緒にいるあいだ、永続的に与えてもらえるのです。

「ペット可」が示すこと

わくわくが止まらない犬との暮らしですが、「ペット

可マンション」を見に行くと、あまりわくわくしないことも。

たとえば、以下のような仕様のマンション。

- ①コンセントが高い位置に設置してあります
- ②共有部分に犬用の水洗い場があります
- ③ペット専用のエレベーターが設置されています

これらは利便性が高いかもしれませんが、残念ながらすべて「人間目線を重視したペット可仕様」であって、その仕様が犬にどのように映っているのかには注力していないのです。

わたしたち人間にとって暮らしやすい工夫をするのは当然ですが、犬たちがどのような動きをして毎日を過ごしているのか、という視線が絶対的に足りないのだと思います。だからこそ、愛犬を理解した飼い主が、さらなる充実した共生のためにリフォームをするというのは、素晴らしい選択だといえるでしょう。

犬と暮らしていると毎日、毎時間、何かしら笑みが生まれます。食べる時も一生懸命、寝るときも全力。ときには、ただ目が合っただけで微笑みが溢れる瞬間も。いずれにせよ共に暮らす中で、もれなく幸せの貯金がどんどん溜まっていくのが犬生活。では、どんな毎日が、わたしたちの心を豊かにしてくれるのか、それを実現するための居場所はどのようなものなのか、ちょっと想像してみましょう。

「時間と空間」を共にする生きもの

まずは自身のライフスタイルをもう一度確認しましょう。あなたはどんな生活をおくっていて、何が好きな



のか。そして犬と一緒に、日々をどのように謳歌したいのか、ビジョンを整理するのです。楽しいことをしたい、といったわくわく系はもちろん、リラックスした時間を過ごしたい人もいるでしょう。実はそういった、日常に散りばめられたちょっとした幸せこそ、心を豊かに育てるコツだといえます。

もしあなたがキッチンにいる時間が長いのであれば、キッチンから愛犬がリラックスして休む様子を見られる間取りがいい。愛犬が寝ている様子を見ながら料理をつくり、その空間に自分が居合わせていることを実感できるだけで、自然と口角があがるものです。

おもしろいことに、愛犬はシャンプーのためにサロンに行っていて留守なのに、キッチンでカットした人参がフロアに落ちて「あ、やばい食べられちゃう」と一瞬思った経験がある人も多いはず。

その感覚は、犬がわたしたちと「時間と空間」を共にする生きものだからこそ。時間と空間を愛犬と共有できる喜びは、なにものにも代えがたく、尊いものです。

幸せのクリエイト

さらに愛犬が7歳以上のシニアであれば、室内の空調の循環を考慮した仕様がいいでしょう。犬は加齢と共に、動くことに対して消極的になり、一日の排尿の回数が少なくなるほどです。空調の温度設定はもちろん、空気の流れを上手く作ってあげることで、腸を冷やすぎないように、シニア犬のからだへの負担を確実に軽減することが可能です。加齢によってアクティビティの質が変わるのは、犬もわたしたち同様です。

そしてお子さんがいらっしゃるのであれば、リビングが家族の動線になるような間取りにするといいと思い

ます。子どもは成長とともに、親との共通言語が少なくなり、部屋にこもるような傾向がありますが、そこに犬がいるだけで、必然的にリビングで過ごす時間が増え、家族で共通の話題をもつことにもつながります。また、犬はわたしたち人間の約6倍の速度で歳を重ねていきます。子どもの成長よりも早く歳をとり、先に人生をまっとうするのです。愛犬と家族の時間を記憶に留めておくことができるのも、コミュニケーションを共有してきた日常があつてこそだし、大切な家族の死を経験するのは、子どもにとって悪いことばかりではないともいえます。

心の豊かさの尺度はこの世には存在しません。ただし自分自身が「幸せだ」と感じる対象やタイミングは、自身でクリエイトしていくことができます。ちょっとした「幸せ」を日々貯金していくという発想があれば、いつのまにか、わたしたちの「心の豊かさ」は毎日貯蓄され、気づけば心が健康な毎日を謳歌していることでしょう。そして、そんなわたしたちに常に寄り添ってくれるのが、ほかならぬ愛すべき犬たちなのです。であるならば、心の豊かさを貯金する環境を創造するためのリフォームを考えてみることは、もしかしたらわたしたちの人生のハイライトといえるのかもしれません。



須崎 大

ヒューマン・ドッグ トレーナー／DOGSHIP LLC. 代表。実務経験と動物の行動学と心理学を学問してきた立場から、人と犬、人と人の相互関係をライフワークとして研究。互いの行動変容を促すコーチングを用いたトレーニングを行う。また近年は建築分野においても、企業との協業に携わり良質な住環境の形成に参画する。www.dogship.com